

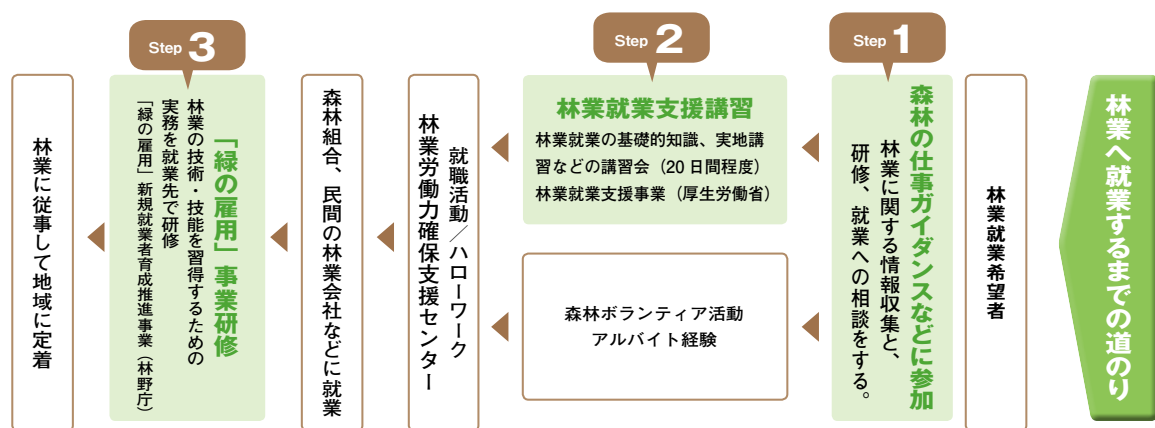
森林の仕事 ガイドダンス2019

1月26日(土)、東京国際フォーラムで森林・林業に関心を持つ人を対象とした林業の仕事内容、地域での生活・暮らしなどを紹介する就業相談会「森林の仕事ガイドダンス2019」が開催されました。

「森林の仕事ガイドダンス」は、「緑の雇用」新規就業者育成推進事業の実施主体である全国森林組合連合会が、新たな林業の担い手の確保の取組として行っている就業相談会です。「緑の雇用」事業を通じて、平成15年度から平成29年度までの15年間に約1万8千人が新たに就業しています。今年も、東京・大阪の2都市で開催されました。会場では、林業の作業内容、各地の林業に関する情報、就業までの流れについての説明や相談が行われたほか、ハローワークの協力によって幅広い就業情報の提供が行われました。



森林の仕事ガイドダンスホームページより



ハローワーク相談ブース

各地域の労働条件や給与などの相談や就業情報の提供、林業就業支援講習の内容についての説明が行われました。



全森連相談ブース

林業の基礎から林業に就業するための方法、就業後の仕事内容など、林業に関する総合的な相談が行われました。



都道府県相談ブース

各都道府県の担当者が、各地域の林業の特色や求人情報の提供、移住に関する相談に応じました。



展示コーナー

最新の防護服や保護具、チェーンソーのほか、高性能林業機械による作業の様子などが展示されました。



フォレストワーカー・フォレストリーダー トークショー

実際に現場で働く研修生や、現場経験を積んだフォレストリーダーが仕事の内容や暮らしについて語りました。



フォレストワーカー交流ブース

「緑の雇用」事業の研修生(フォレストワーカー)たちが、林業への就業やその後の生活などについて実体験を基に相談に応じました。



研修生のキャリアアップイメージ



チェーンソー等の展示コーナー

フォレストワーカーから一言



畑中 太さん (宮城県)

元々は東京で車を運転する仕事に就いていましたが、昔から山スキーを趣味にしていたことや宮城県でボランティアをしていた関係で、宮城県で林業の仕事をしたと思うようになりました。そこで友人に相談したところ、「林業就業支援講習」というのがあったので参加し、その後はとんとん拍子で話が進み、約1年2ヵ月前に転職しました。今は間伐や苗を育てる仕事を中心に取り組んでいます。都会で暮らしていたら経験できないことがたくさんあるので、本当に転職して良かったです。



本田 雅俊さん (茨城県)

大学卒業後、森林組合のキャンプ運營業務の事務職として10年ほど過ごしてきましたが、人事異動で3年前から現場に出るようになりました。今の部署では、主に作業路の開設作業を行っており、重機を用いて森の中を掘削し、道を舗装しています。存在しないところに道をつくるこの仕事は、クリエイティブな側面があり上手に道をつくることができた時は充実した気持ちになります。また未経験からのスタートでしたが、日々上達していることを実感しているのでとてもやりがいを感じています。



伊東 日向子さん (岩手県)

以前は岩手県内で営業の仕事をしていましたが、3年前に森林組合の事務職に転職しました。その後、初めて林業の現場に行った際、女性が働いている姿を見てカッコいいと感じ、「私も現場に出たい!」と強く思うようになり、昨年の4月から現場で働かせていただくようになりました。現在は造林関連の仕事が中心で、地ごしらえや下刈りなどを行っています。外に出て体を動かしながら働くのが楽しく、女性が活躍できる場面もたくさんあるので、私に向いている仕事だと実感しています。



山中 正敏さん (千葉県)

前は生協で仕事をしていたのですが、幼少期から自然が大好きでずっと森林に携わる仕事をしたいという思いを抱えていたため、一念発起して林業への転職を決めました。現在は、山の整備や苗の植え付け、下刈り、間伐など全般を行っています。その中でも、木を上手に倒せたり、現場をきれいに刈ることができた時に達成感を覚えています。林業に対して、危険だとか肉体的労働で辛そうというネガティブなイメージを抱いている方もいるかもしれませんが、少しでも気になるならまずは挑戦してほしいと思います。そうすることで、気づけるものがきっとあるはずですよ。

【参加者の声】

- 現在、林業系の大学に通っているため、大学で学んだことを生かした仕事に就きたいと思い今回参加しました。主に首都圏や実習で行った北海道ブースで話を聞き、女性の割合や活躍する場面について話を伺いました。いろいろと情報を得たため、今後は現場も視野に入れて就職活動をしていきたいです。(20代女性)
- 移住相談員からこのイベントの存在を聞いて参加しました。今回は福島県と広島県のブースで話を聞き、林業事業者と森林組合の違いや各県の林業の状況、森林面積の話など、いろいろな話を聞くことができました。今後、林業系の仕事に転職する上で、選択肢を増やす良い機会になりました。(30代男性)
- 電車の中で緑の雇用の広告が目にとまり、足を運んでみました。昔から緑に携わる仕事がしたいと思っていたため、今回は島根県のブースで林業の仕事について具体的な話を聞くことができました。林業の全体像が何となく把握できたので、目標に向かって一歩前進した一日になりました。(20代女性)
- ボランティアに行った際、そこで知り合った人から林業の話を聞いて興味を持ったため、今の林業についていろいろと話を聞きたくて来場しました。(50代男性)